

# 令和5年度 江戸川区立平井東小学校 研究構想図

<研究主題>

**自分の思いや考えを豊かに表現できる子の育成  
～対話的な学びを促す課題設定～**

<目指す児童像>

★低学年

自分の思いや考えを経験したことに基づいて話せる児童

★中学年

自分の思いや考えを理由や根拠を挙げながら話せる児童

★高学年

自分の思いや考えを自発的に話し合い、比較することができる児童

<研究仮説>

各教科の特性や児童の実態に応じて課題を設定し、対話的な学びを充実させる手だてを工夫することで、自分の思いや考えを豊かに表現できる児童が育つだろう。

<研究内容>

## ①課題設定の工夫

考えなければ解決できない課題を設定し、「子供が考える」授業づくりを行う。また、考えに違いやズレが生じる課題にすることで、「話したい」「聞きたい」と意欲的に対話できるようにする。

## ②対話的な学びを充実させる手だて

思いや考えを交換、交流、議論できる場を設定し、「子供同士が協働する」授業づくりを行う。また、日常的に聞き手の引き出す力を鍛え、双方向のやりとりを意識することで、瞬間的に考え、話し合えるようにする。